

# 欧米の金融不安と当ファンドの投資状況

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)  
愛称 ザ・ディスカバリー  
追加型投信/内外/株式

THE DISCOVERY

当ファンドの主要投資対象ファンド\*と同様の運用担当者・投資哲学・運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Mid-Cap Stock Fund」の運用チームからのコメントを基に足元の株式市場の動向および運用チームの注目銘柄についてお伝えします。

\*フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

## 足元の金融不安と当ファンドへの影響について

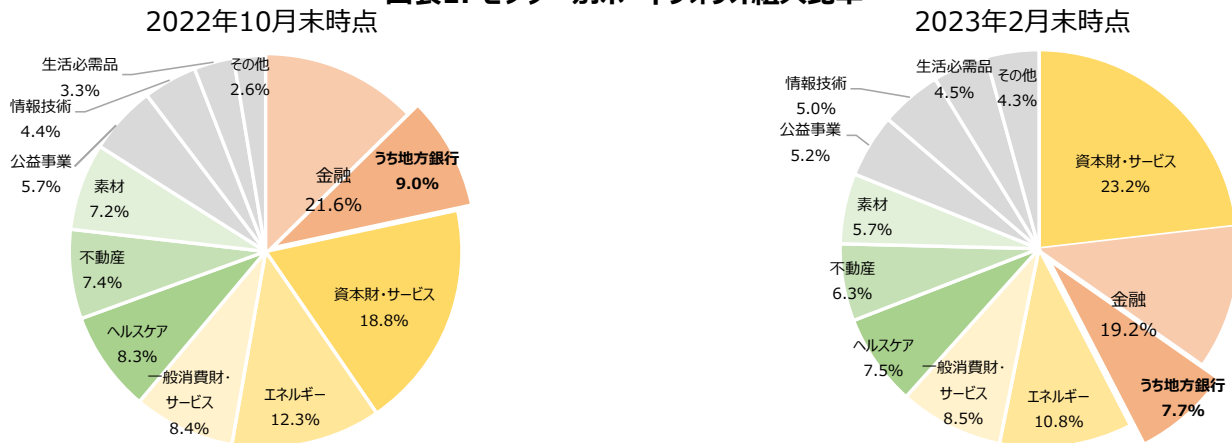
世界の中央銀行が金融引き締めにくくなか、複数の欧米金融機関の破綻や身売りが伝えられ、金融市場では足元で不透明感が強まっています。米国では、地方銀行であるシリコンバレー銀行やシグネチャー銀行が破綻。預金者や投資家の警戒感が強まったものの、米当局は直ちに預金の全額保護や流動性供給などの緊急対応を決定し、今後も金融不安の拡大を抑止する姿勢を示しています。また、欧州ではスイスの金融大手クレディ・スイス・グループについて、スイスの金融機関最大手であるUBSが買収する事が発表されました。米地銀の破綻に端を発した信用不安の余波が懸念されるなか、スイス中央銀行との連携のもと、迅速に買収が決定されたことは信用不安の無秩序な拡大抑止に向けて一定の効果が期待されると当社では考えています。

株式市場では、企業の借り入れコスト増大が様々な経路で影響を及ぼすリスクについて改めて意識されており、引き続きバランスシートの健全性に注意する必要があります。Fidelity® Mid-Cap Stock Fundの運用チームでは、このような環境においては銘柄選択がより重要になると考え、**変化をいち早くとらえるために、市場の局面や各銘柄のバリュエーションの魅力度を常に注視しています。**

### ● 主要投資対象ファンドの金融および銀行セクターへの投資状況

主要投資対象ファンドでは、昨年10月末から今年2月末にかけて一部利益確定を行った結果、地方銀行株への配分を減らしてきました。一方、今回破綻が伝えられたシグネチャー銀行に関して、3月10日時点で0.3%未満の投資配分があったことが確認されています(シリコンバレー銀行およびクレディ・スイス・グループへの投資配分はありません)が、ファンド全体に対する影響は限定的だと考えます。金融セクターに関する不透明感払拭には、もうしばらく時間を要すると予想しますが、金融および銀行セクターについて引き続きボトム・アップ・アプローチによる銘柄選択をもとに、銘柄調査の中で得られたマクロ(およびセクター)動向の情報も考慮に入れて、優れた投資機会を持つ銘柄を発掘してまいります。

図表1. セクター別ポートフォリオ組入比率



※上記組入比率は投資対象ファンドの株式ポートフォリオに対する比率です。

### — 本資料に関してご留意いただきたい事項 —

- 本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 注目銘柄のご紹介①

### アキュイティール・ブランズ (米国：資本財・サービスセクター)

資本財・サービスセクターでは、**スマート照明分野におけるリーディングカンパニー**のアキュイティール・ブランズ(米国)に注目しています。

同社の照明テクノロジーは**デザイン性とエネルギー効率などの実用性を高いレベルで両立させている点が特色・強み**であり、実際に高速道路や空港、大学のキャンパスに至るまで幅広い用途で活用されています。



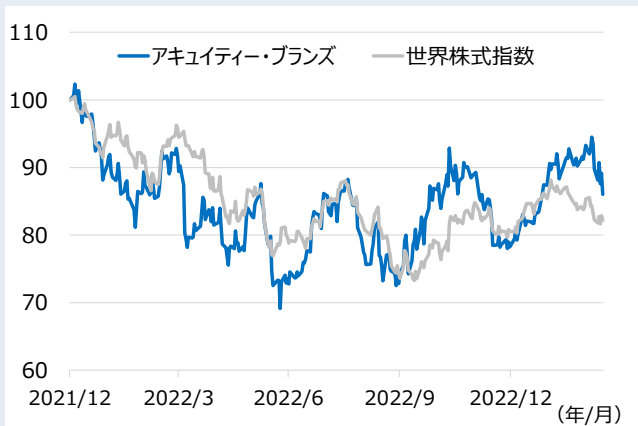
※写真はイメージです

また、数年前に新たな経営陣に交代し、より優れた企業文化を醸成しています。**資本政策にも真摯に取り組む**、数年かけて発行済み株式全体の約2割にもおよぶ規模の自社株買いを段階的に実行してきました。

その他にも、同社は**より予見しやすく、再現性が高く、規模の優位性が働きやすいビジネス構築に取り組むとともに、高水準のマージンの維持も意識した経営を行っており、今後もさらなる成長が見込めると**考えています。市場では同社の成長力が過小評価されていると考えており、株価の上昇余地が大きいとみています。

図表2. アキュイティール・ブランズの株価推移

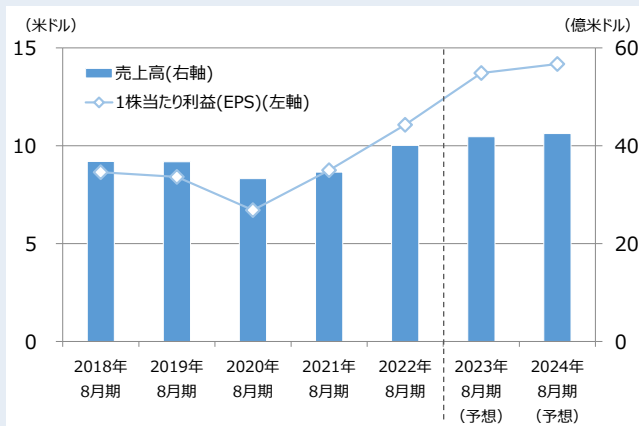
(2021年12月31日～2023年3月17日、日次)



(2021年12月31日を100として指数化) ※いずれも配当金再投資を考慮せず

図表3. アキュイティール・ブランズのEPS、売上高の推移

(2018年～2024年、年次、予想を含む)



(図表2、3の出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(注) 世界株式指数はMSCIワールド指数を使用。

MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

#### —本資料に関してご留意いただきたい事項—

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。  
 ■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 注目銘柄のご紹介②

### アマドックス (米国：情報技術セクター)

情報技術セクターでは、**通信、メディア業界向けにソフトウェア・サービスを提供**しているアマドックス(米国)に注目しています。

同社は**5Gやクラウドといった成長著しい分野において優れた製品・サービスを持つことが強み**で、大手の通信企業や動画配信企業をはじめとして350社以上の企業を顧客に持ち、グローバルで30,000人を超える従業員が約90か国においてサービス提供を行っています。



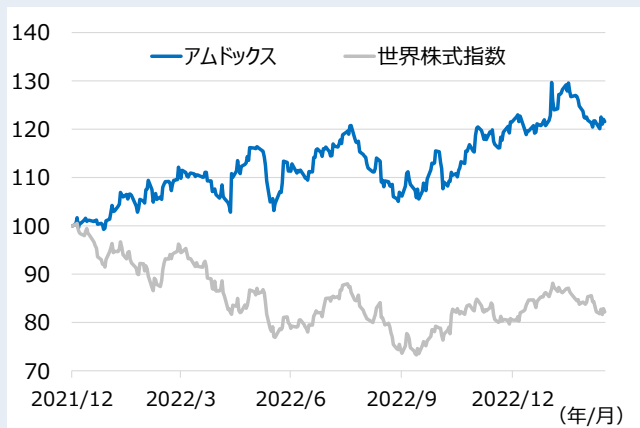
※写真はイメージです

情報技術セクター全般をみると、2022年から足元にかけて金利上昇の影響を受けて株価は軟調に推移しましたが、同社の株価は約25%上昇しました(2021年末～2023年2月末、トータル・リターン、米ドルベース)。

**成長余地の大きい事業領域において強みを発揮でき、次世代のクラウド・プラットフォームなど将来への積極的な投資も行っている**ため、今後も力強い収益成長が見込まれることを考慮すれば、現在の株価はまだ割安感があるとみています。

図表4. アマドックスの株価推移

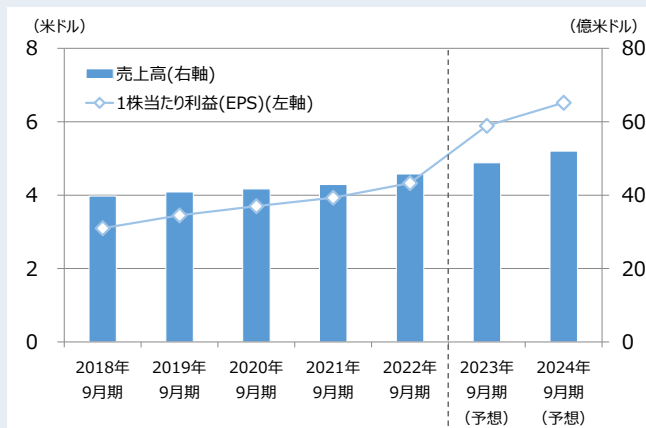
(2021年12月31日～2023年3月17日、日次)



(2021年12月31日を100として指数化) ※いずれも配当金再投資を考慮せず

図表5. アマドックスのEPS、売上高の推移

(2018年～2024年、年次、予想を含む)



(図表4、5の出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(注) 世界株式指数はMSCIワールド指数を使用。

MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

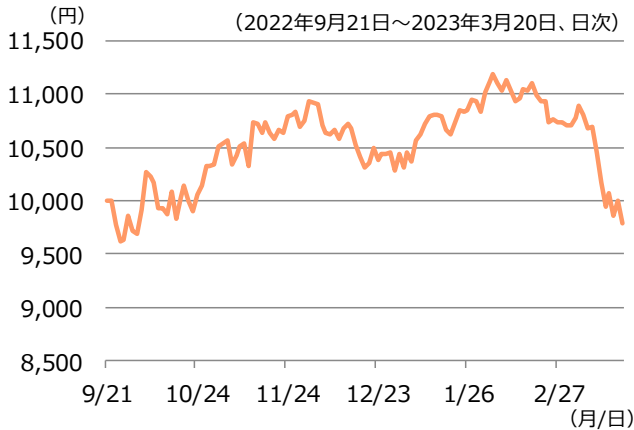
#### —本資料に関してご留意いただきたい事項—

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。  
 ■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 運用状況 (作成基準日 2023年3月20日)

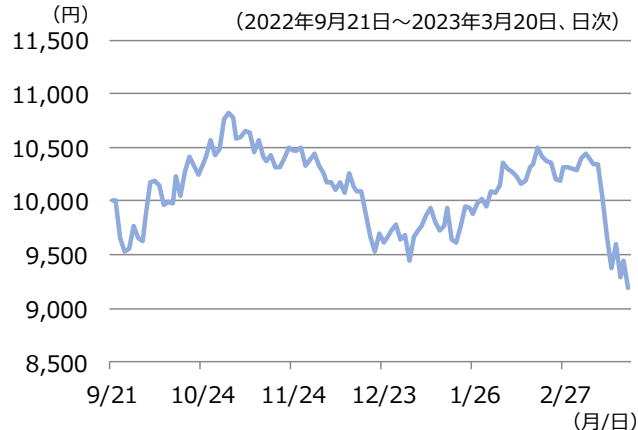
## &lt;為替ヘッジあり&gt;

## 基準価額の推移



## &lt;為替ヘッジなし&gt;

## 基準価額の推移



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬除後です。 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

## ファンドデータ

基準価額	9,783円
残存元本	1,954百万口
純資産総額	1,912百万円

## ポートフォリオ構成比率

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	97.6%
マネー・インベストメント・マザーファンドII	0.2%
短期金融商品その他	2.2%

## ファンドデータ

基準価額	9,189円
残存元本	9,420百万口
純資産総額	8,656百万円

## ポートフォリオ構成比率

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	97.7%
マネー・インベストメント・マザーファンドII	0.2%
短期金融商品その他	2.1%

※上記の各構成比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

(作成 : 運用本部)

## —本資料に関してご留意いただきたい事項—

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。  
 ■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンドに関する留意事項

### 【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

### 【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

### 【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
  - 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
  - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
  - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
  - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

### 【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
    - 運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率1.265%（税抜1.15%）
    - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担  
：純資産総額×年率1.98%（税抜1.80%）程度  
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
  - その他費用・手数料
    - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
  - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)  
愛称 ザ・ディスカバリー  
追加型投信/内外/株式

## 販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

### <本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)